

# 法人名 (公財)山梨県馬事振興センター

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	橋田 恭		所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	北杜市小淵沢町10060-3		電話番号	0551-36-3945		
ホームページURL	http://www.nns.ne.jp/ass/baji		E-mailアドレス	baji@nns.ne.jp		
資本金(基本財産)	1,000 千円		設立年月日	昭和57年6月17日		
主出資者等	出資順位	出資者名等		出資額		出資比率
	1	山梨県		400	千円	40.0 %
	2	北杜市		400	千円	40.0 %
	3	山梨県馬術連盟		200	千円	20.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)			千円	0.0 %
その他				千円	0.0 %	
				1,000	千円	100.0 %
設立経緯等	<p>(設立) 本法人は、「かいじ国体」(昭和61年10月)で整備した馬術競技用施設を管理運営し、これを有効活用して事業を実施する法人として、県・小淵沢町・馬術連盟の出捐により設立。</p> <p>(目的) 馬術技術の普及奨励と優良乗用馬の育成供給等を行い、もって畜産の振興に寄与すること。</p> <p>(経緯概況等) 国体終了後も県の馬事振興を図る拠点とし、各種大会の開催、研修会開催等により馬術普及に貢献している。</p>					

## 【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H24年度	H25年度	H26年度
事業1	馬事技術普及奨励事業 各種大会・合宿の受け入れ、施設の利用を通して馬事普及を図った。県有競馬馬を中心とした調教技術の向上に努め選手強化の実績を挙げた。	77,477	56,109	52,528
事業2	優良乗用馬育成供給事業 優秀馬の繁殖事業に伴う生産育成による乗用馬と競走転用馬の再調教を施し広く乗馬関係者に供給した。	12,979	10,084	2,305
事業3	その他法人の目的を達成するために必要な事業 地域と連携しホースドレッシング大会やホースショー及び小中学生の体験乗馬等の開催を支援し、地域スポーツ文化及び馬事振興発展に協力した。	2,064	2,007	1,776

## 【組織】

年度	平成25年度					平成26年度					平成27年度							
	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他			
4月1日現在の人員																		
役員等	理事(常勤)	1			1	1				1	2			1	1			
	理事(非常勤)	8		3	5	8		3		5	8		3		5			
	監事(常勤)	0				0					0							
	監事(非常勤)	2			2	2				2	2				2			
	評議員	5			5	5				5	5				5			
計	16	0	0	3	0	13	16	0	0	3	0	13	17	0	0	3	1	13
職員	管理職	2	1		1	1			1		1			1				
	一般職員	4	4			4	4				3	3						
	臨時職員	4			4	1				1	1				1			
	非常勤職員	0				0					0							
計	10	5	0	0	1	4	6	4	0	0	1	1	5	3	0	0	1	1
プロパー職員の年齢構成(H27.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計		平均年齢	平均年収							
	男性			1	1			2	役員常勤	66	(千円)2,440							
	女性			1				1	職員常勤	46	(千円)4,842							
	合計	0	0	2	1	0	0	3										

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
正味財産の状況	基本財産等運用益	0	0	0	0
	受取会費・受取寄付金				0
	受託事業収益	43,770	31,035	31,502	467
	自主事業収益	36,726	32,167	22,603	△ 9,564
	受取補助金等	4,150	3,942	3,744	△ 198
	その他の収益	18,570	19,513	19,514	1
	経常収入 計	103,216	86,657	77,363	△ 9,294
	事業費	96,719	87,565	72,972	△ 14,593
	うち人件費	34,991	24,067	23,223	△ 844
	管理費	5,704	5,700	4,964	△ 736
	うち人件費	1,461	1,212	1,763	551
	経常支出 計	102,423	93,265	77,936	△ 15,329
	当期経常増減額	793	△ 6,608	△ 573	6,035
	経常外収入				0
	経常外支出				0
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	793	△ 6,608	△ 573	6,035	
当期指定正味財産増減額	△ 18,548	△ 14,974	△ 19,514	△ 4,540	
正味財産期末残高	315,518	293,935	273,849	△ 20,086	

(単位:千円)

項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
財務状況	流動資産	79,169	53,946	58,072	4,126
	固定資産	273,064	255,127	229,285	△ 25,842
	資産 計	352,233	309,073	287,357	△ 21,716
	流動負債	26,467	4,890	3,568	△ 1,322
	うち短期借入金				0
	固定負債	10,248	10,248	9,940	△ 308
	うち長期借入金				0
	負債 計	36,715	15,138	13,508	△ 1,630
	正味財産	315,518	293,935	273,849	△ 20,086
	うち基本財産への充当額	1,000	1,000	1,000	0
うち特定資産への充当額				0	

(単位:千円)

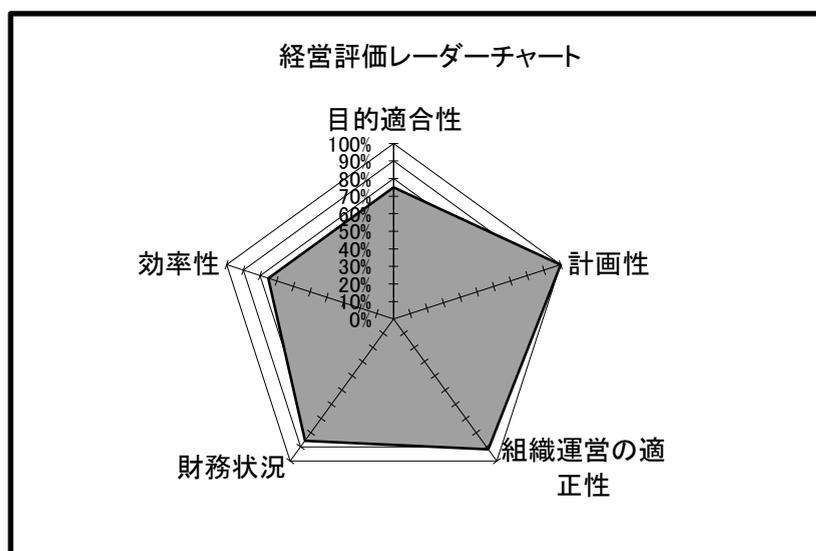
項 目		24年度	25年度	26年度	増減(26-25)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金	4,150	3,942	3,744	△ 198
	人件費以外の補助金		4,523	0	△ 4,523
	運営費補助金	4,150	8,465	3,744	△ 4,721
	事業費補助金				0
	補助金 計	4,150	8,465	3,744	△ 4,721
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金	18,447	11,742	12,411	669
	人件費以外の委託金	8,270	9,122	6,685	△ 2,437
	委託金 計	26,717	20,864	19,096	△ 1,768
	県支出金 計	30,867	29,329	22,840	△ 6,489
県の財政的関与の割合(%)	29.9	33.8	29.5	△ 4	
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金(運営費)	山梨県馬術競技場の管理運営を行うために要する経費。3,744千円
補助金(事業費)	
委託金	県有競技用馬の能力を効果的に発揮させるため、飼育管理業務に係る委託経費。19,096千円
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	9	75.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	11	91.7%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	48	85.7%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	20	15	75.0%
合計		21	112	95	84.8%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	設立目的に沿った業務を実施し、地域の活性化に成果をあげているが、全日本ジュニア障害馬術大会が開催されないことに伴い、主催大会の参加馬数が減少した結果、目標達成率が大きく下がった。
計画性	経営計画及び事業運営合理化計画に基づいた管理運営を今後も行っていく。
組織運営の適正性	組織の人員構成、業務チェック機能は概ね良好であり、次年度以降は情報公開について検討する。
財務状況	借入を行わず、安全な資金運用を図りながら健全な経営を行っているが、使用料収入等の収益が減少しているため、PRの強化等により収益の増加を図っていく。
効率性	施設の有効利用を図り、必要最小限の人員で事業収入を確保できるよう効率的な業務の推進に努める。
総合的評価	目的にあった計画的な運営に努力しており、効率性の向上に向けて管理費の削減等努力しているが、依然県からの財政支援に頼らざるを得ない現状である。今後も、PR強化により大会・強化トレーニング等の開催を増やし、収益の増加を図っていく。



対応策	地域イベントの開催等により馬術競技場のPRを図りつつ、各種大会の参加馬・参加者の増員等により事業収益の確保に努めながら、より一層管理費の削減など組織運営の効率化に努力して法人の自立性を高めていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	当初の設立目的に適合した業務を実施し、地域の活性化に成果をあげているが、大会の開催数や参加馬が減少しており、集客力の向上等さらなる努力をする必要がある。
計画性	経営計画並びに事業運営合理化計画に基づいた管理運営を引き続き行っていく必要がある。
組織運営の適正性	組織の人員構成、業務チェック機能は概ね良好である。また、情報公開についてもホームページを活用して積極的に公開しており、評価できる。
財務状況	借入金はなく、安全な資金運用など、全体的に見ると健全な経営となっているが、収入が減少し、当期一般正味財産増減額も赤字となっている。大会開催数の減少に伴い、使用料収入が減少しており、大会誘致により開催大会数を回復させる努力が必要である。
効率性	必要最小限の人数で事業を進めており、管理費の削減も図られている。今後は施設利用者の増加のため、施設の計画的な修繕を行うなど、さらなる効率化を検討する必要がある。
総合的評価	目的に合った計画的な運営を行っており、人件費の削減等の努力も行っているが、大会開催数等の減少により、利用料収入が減少しており、目標達成率の改善が課題となっている。設立当時の施設の老朽化も収入の悪化の一因となっていることから、計画的な改修等についても検討が必要である。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>A</b></p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>B</b></p> <p>得点率 70%~80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>C</b></p> <p>得点率 60%~70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>D</b></p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
	<p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設使用料や大会収入の減少などから、前年度に続き赤字決算となった。</li> <li>・施設の管理運営に対する県補助金は毎年度削減される中で実施されており、また経営上借入金もない。人件費の削減により効率性の項目は評価が改善し、A評価を維持していることから、単年度での経営は健全性が保たれていると言える。</li> <li>・一方、施設の老朽化が大会誘致等の障害となっており、事業収入の減少や正味財産減少の要因となっている。</li> <li>・今後は、改定した経営計画に基づき、経費の節減や関係機関と連携した大会の開催誘致に努めるとともに、大会等実施のための計画的な改修や体制整備などに積極的に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・合宿の実施や地域イベント開催など、一層の施設活用に努めていく。</li> <li>・収支の内容を精査する中で、県補助金の見直しを行い、法人の自立経営を目指していく。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック等の誘致活動の進展を踏まえ、大会主催者の要望に応えられるよう、施設の改修等の検討を行っていく。</li> <li>・今後とも、新たな経営計画に沿って業務の効率化を図り、安定的な収入確保のために積極的な大会誘致を行い、収入の増加につなげていく。</li> </ul>
---